



平成18年度

## 大気汚染防止推進月間ポスター受賞作品

環境大臣賞



「青い空の為に。」

中川 萌 さん

仙台市立若切中学校2年

機構理事長賞



「きれいな空気が気持ちいい」

森本 菜暁 さん

徳島県立徳島商業高等学校1年

優秀賞



「だいすき  
きれいな空」

角坂 博子 さん

千葉県 イラストレーター

優秀賞



「青空に結ぶ  
虹色のリボン」

尾脇 奈緒美 さん

鹿児島県立隼人工業高等学校2年

大気汚染防止推進月間の事業報告 .....	2
「平成19年度エコドライブコンテスト参加自治体募集」について .....	5
イベント等の開催報告及び開催予定 .....	6
自治体の取り組み（環境保健施策）の紹介 .....	10
新刊・パンフレットのご案内、次号予告 .....	12

# 大気汚染防止推進月間の事業報告

毎年、環境再生保全機構では環境省と全国都道府県との協力のもとに、都市における大気汚染濃度が一年のうちで高くなる12月の一ヶ月間を大気汚染防止推進月間とし、主に自動車利用者（荷主、運転者等）やビル所有者を対象とする各種啓発活動を実施して、窒素酸化物や浮遊粒子状物質等の排出低減を広く呼びかけています。

大気汚染物質排出量の低減及び国民各層の大気保全意識の高揚を図るため、以下のキャンペーンを行ないました。

## ポスターの作成及び掲出

青い空の大切さや、一人ひとりがやるべきことなどを広く呼びかけるためのポスター（※）を8万7千枚及び2007年版カレンダーを1万8千部作成し、全国の都道府県等に配付し、掲出の協力をお願いしました。

※ポスター等の図案については、7月中旬から公募を行い、9月15日までに応募のあった1,773点の中から、漫画家の矢野功氏、音楽家の湯川れい子氏らをはじめとする選考委員により審査を行い、環境大臣賞や環境再生保全機構理事長賞など16点の入賞作品を10月17日に決定しました。受賞作品はポスターやカレンダーなどの図案に活用するなど広く一般への周知を図っています。



● 環境大臣賞を活用したポスター ●



● 機構理事長賞を活用したカレンダー ●

## 新聞広告・WEB

大気汚染防止の大切さを呼びかけるため、新聞広告及び機構ホームページ内における「いますぐエコ」と題したWEBキャンペーンにより展開しました。

### ● 掲載新聞

毎日新聞の12月1日(金) (朝刊1頁、夕刊1頁)に掲載しました。

### ● WEB キャンペーン

12月1日(金)より、機構ホームページ内で展開しました。

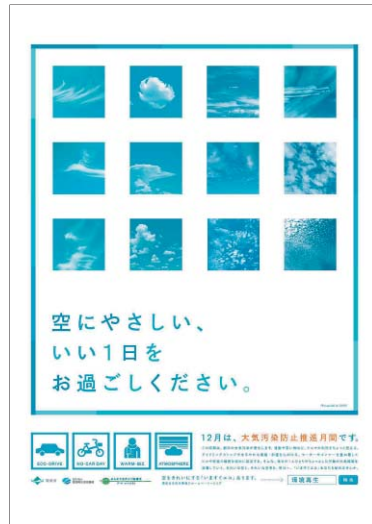
「いますぐエコ」>>

<http://www.erca.go.jp/eco/>

## 新聞広告

朝刊

夕刊



## 受賞者の声



### 環境大臣賞受賞 中川 萌さん

(宮城県仙台市立岩切中学校2年)

「自分のイメージをポスターに表現しました。受賞できて嬉しいです！」

### 環境再生保全機構理事長賞受賞 森本 菜暁さん

(徳島県立徳島商業高等学校1年)

「このポスターを描いたのは、いつまでもきれいな空を大切にしていきたいという願いを伝えたくてからです。長時間かけて仕上がった作品が受賞したことは嬉しかったです。」



### 優秀賞 角坂 博子さん

(千葉県イラストレーター)

「私は紫外線過敏症です。主婦の私がポスターを描くことで子供達が空気や環境に興味を持ってくれたらと思い応募しました。」

### 優秀賞 尾脇 奈緒美さん

(鹿児島県鹿児島県立隼人工業高等学校2年)

「リボンをキレイに仕上げようと時間をかけて工夫を重ねました。」



## ポスター図案入賞者表彰

平成18年度大気汚染防止推進月間のポスター図案に係る公募上位入賞者と大気環境保全活動功労者に対し、12月1日(金)に表彰式が行われました。



受賞者の記念撮影



受賞作品の展示

## エコドライブコンテスト表彰

急発進や急加速をしないなど環境にやさしい運転（エコドライブ）についての活動を全国に普及させることを目的として、各事業所で行っているエコドライブに関する取り組み内容等を審査し、優秀な事業所を表彰するためのコンテストを実施しました。

本コンテストは17の自治体（札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都、川崎市、横浜市、愛知県、名古屋市、四日市市、京都府、京都市、大阪府、大阪市、神戸市、広島市、北九州市）の協力により、参加された事業所数は175事業所、参加車両台数13,138台の応募がありました。その内容を地域毎に評価した結果を踏まえ、11月7日（火）の最終選考会（委員長 大聖泰弘：早稲田大学理工学部教授）において、環境大臣賞1事業所、環境再生保全機構理事長賞2事業所、入賞13事業所及び選考委員会特別賞1事業所が決定されました。

### ●環境大臣賞、環境再生保全機構理事長賞の紹介

<p><b>環境大臣賞</b></p> <p>受賞の声</p>	<p><b>佐川急便株式会社川崎店【川崎市】</b></p> <p>営業所でもできることはないかと興味がありました。環境への取組みは、交通安全と事故防止につながることから、エコドライブに取り組んだところ、使用燃料や事故違反の減少、ドライバーの意識向上にもつながり大きな効果がみられました。環境大臣賞は光栄です。</p>
<p><b>環境再生保全機構理事長賞</b></p> <p>受賞の声</p> <p><b>環境再生保全機構理事長賞</b></p> <p>受賞の声</p>	<p><b>中越運送株式会社板橋営業所【東京都】</b></p> <p>環境にやさしい企業をめざし、新たな進化をしてみたいと思います。</p> <p><b>保証運輸株式会社本社営業所【大阪府】</b></p> <p>今回、全国のレベルにチャレンジしてみました。運送会社の課題である燃費の向上やエコドライブに対する社員の意識向上もみられました。</p>

平成19年度

# エコドライブコンテスト 参加自治体募集!!

環境再生保全機構と環境省では、平成19年度も大気汚染防止推進月間行事の一環として『エコドライブコンテスト』を実施します。

このコンテストは、平成16年度より実施しており、3回目にあたる平成18年度につきましては、17の地方自治体の参加、協力により、各地域内に所在する事業所が多数エントリーされており、今後さらに対象エリアを拡大していく予定です。

つきましては平成19年度エコドライブコンテストにご参加される地方自治体を募集します。

**主 催：環境省・独立行政法人環境再生保全機構**

**コンテスト内容：本コンテストは、地方自治体との協力及び連携のもと、各事業所で推進されている『エコドライブ活動』の実践内容と成果を評価します。**

●「平成18年度の結果については、P.4参照

※エコドライブコンテスト選考委員(予定)※

委員長 早稲田大学工学部 教授 大聖泰弘

委員 慶応義塾大学工学部 教授 飯田訓正

委員 交通エコロジー・モビリティ財団

交通環境対策部部長 加藤信次

委員 日本EVクラブ 代表 館内 端

委員 環境省水・大気環境局自動車環境対策課長

委員 環境再生保全機構予防事業部長



平成18年度大気汚染防止推進月間表彰式で  
若林環境大臣を囲み記念撮影

本件についての問合せ：独立行政法人 環境再生保全機構 予防事業部環境改善課  
TEL：044-520-9567



# イベント等の開催報告及び開催予定



## 開催報告

### ■低公害車フェア

平成18年6月に横浜市で、エコカーワールドを開催したほか、12月にかけて、次の予防事業対象地域の地方自治体との共催で低公害車フェアが行われました。たくさんのご来場ありがとうございました！

名称	開催日	会場	延べ来場者数
環境デーなごや	9月17日(日)	久屋大通公園	170,000人
北九州エコカーフェア2006	10月14日(土)～15日(日)	リバーウォーク北九州周辺広場	126,000人
低公害車フェアinKOBÉ2006	10月21日(土)～22日(日)	しあわせの村	14,000人
エコ・カーフェア埼玉2006	11月3日(金・祝)～4日(土)	所沢航空記念公園	27,000人
エコカーフェア2006inおおさか	11月30日(木)～12月2日(土)	インテックス大阪	31,900人

ここでは、10月に開催された北九州市の「北九州エコカーフェア2006」を紹介します。

### ◆北九州エコカーフェア2006

このフェアは、地球温暖化やごみ対策など、環境問題に対する取り組みの展示を通じて“エコドライブ”が市民に広く浸透することを目的に、北九州市・北九州商工会議所で構成する北九州エコカーフェア2006実行委員会と環境再生保全機構の共催により開催されました。



電気自動車の展示



「エコドライブコンテスト」  
北九州地区表彰式の様子



会場より小倉城をのぞむ



## 開催報告

# ぜん息児水泳記録会

平成18年度は以下のとおり開催いたしました。

名称	開催日	会場	参加者数
関東地区	平成18年10月14日(土)	東京都江東区/東京辰巳国際水泳場	約250人
関西地区	平成18年9月23日(土・祝)	大阪市港区/大阪プール	約150人

この水泳記録会は、健康被害予防事業の一環として、ぜん息児童が一堂に会し、年間を通じた水泳訓練の足がかりとさせていただきため、目標設定ができて人気もある泳力検定を含めたタイムレースを重点とし、昨年度に引き続き実施しているものです。

今年の目玉は、一人2種目までレース参加が可能となったことです。関西地区は、レースの合間に「水中〇×クイズ」を実施しました。



元気にスタート!(関東)



大盛況だった「水中〇×クイズ」(関西)

各レースでも熱戦が繰り広げられるとともに招待水泳選手(関東:稲田 法子選手、関西:奥村 幸大選手)の飛び入り参加、模範水泳の見学をしました。

稲田選手からは、「バルセロナ、シドニー、アテネのオリンピック代表になりました。初めて中学生でオリンピックに出場した時は緊張しましたがいつもと同じ泳ぎで頑張りました。」、奥村選手からは、「小さい頃、体が弱くて水泳を始めました。今、水泳で世界で活躍出来るようになってうれしい。皆も頑張ってもらいたい。」というコメントをいただきました。

今回を機に新たな目標を持って水泳を続けていって欲しいと思います。



稲田選手よりベストタイム賞の授与(関東)



奥村選手(中央)と記念撮影(関西)

## 開催報告

### ■ぜん息予防講演会（一般の方々を対象）

「ぜん息予防講演会」は、ぜん息等に関する知識の普及を図ることを目的として、一般の方々を対象に、専門家によるぜん息やアレルギーに関する講演会を関係自治体との共催で開催しています。

平成18年度は、12月までに4カ所で開催しました。

右の写真は、杉並区で開催した講演会の様子です。

当日（10/12（木））は約100名の来場者があり、講師の先生より「小児ぜん息治療の基礎知識と最新情報」のご講演と、「すこやかな家庭生活のために」をテーマにパネルディスカッションを行いました。パネラーには、基調講演の講師の先生と、ぜん息児をもつ保護者の方をお迎えし、それぞれの立場でお話いただきました。



### ■ぜん息予防講習会（地域・学校等の保健指導関係者対象）

ぜん息児の快適な学校生活等を支援するため、各地域の公立学校等においてぜん息児等の保健指導に携わる方を対象に、講習会を実施しています。

平成18年度は、12月までに5カ所で開催しました。

右の写真は、千葉県南房総市での講習会の様子です。

当日は、「ぜん息児の日常生活・治療・保健指導のあり方」をテーマに、専門医から講義がありました。内容は、「学校での指導」を中心として、米国のアレルギー疾患に係る教育者向け指導マニュアルの紹介、学校生活の中で最もQOL（生活の質）に関係があるとされる運動誘発ぜん息（EIA）の対処法等についてお話いただきました。

受講者からは、子どもたちの「アドヒアランス向上の大切さ」について理解した、という感想が多く寄せられました。



▶ イベント等の今後の開催につきましては、9ページの「開催予定」をご覧ください。



## 開催報告

### ■栄養指導専門研修

地方自治体で公害健康被害予防事業に係るぜん息等アレルギー疾患に関する栄養指導に従事している管理栄養士、栄養士、保健師を対象に、栄養指導専門研修を開催しました。

当日は、約50名の受講者がありました。前半は、食物アレルギーの基礎知識について「食物アレルギーガイドライン2005」の講演、後半は、「食べること」を目指した食事療法の解説、食物アレルギー児のためのレシピ：調理上の工夫による低アレルゲン化の実際を含めて（調理実習・試食）～子ども大好き食事メニュー&デザート～の講演と実演があり、参加者でハンバーグステーキ（卵の完全除去メニュー）、ビスケット等（卵アレルゲン低減メニュー）を調理、試食をしました。



調理実習の様子

## 開催予定

### ■ぜん息の予防等に関する講演会（一般の方々を対象）

テーマ・講師	開催予定日	会場	備考
「小児ぜん息治療の基礎知識と最新情報（年代別）」「小児アレルギー疾患について」（二部構成） <b>赤澤 晃先生</b> （国立成育医療センター 総合診療部小児期診療科医長 教育・研修部長）	2月18日 （日）	世田谷区民会館別館 「三茶しゃれなあど」	世田谷区と共催
『これだけは知っておきたい「小児ぜん息」～健やかな日常生活のために～』 <b>勝沼 俊雄先生</b> （東京慈恵会医科大学附属病院 小児科診療医長）	3月10日 （土）	神戸市産業振興センター	神戸市と共催

※詳細は機構ホームページ ▶ <http://www.erca.go.jp/asthma2/event/lecture.html>（講演会）でお知らせします。

### ■ぜん息の予防等に関する講習会（地域・学校等の保健指導関係者対象）

対象	開催予定日	会場	テーマ・講師
名古屋市小中学校保健指導関係者	2月6日（火）	名古屋市熱田文化小劇場	「ぜん息等アレルギー疾患と子どものストレスについて」 <b>小嶋 なみ子先生</b> （国立成育医療センター アレルギー科心理療法師）
神奈川県地域・学校保健指導関係者	2月13日（火）	鎌倉芸術館	「ぜん息児の学校生活を考える」 <b>菅井 和子先生</b> （藤沢市民病院小児科）
東京都小学校養護教諭等学校関係者	2月20日（火）	こまばエミナース	「学校生活におけるアレルギー対策～ぜん息と食物アレルギーへの対応～」 <b>今井 孝成先生</b> （国立相模原病院小児科）

※詳細は機構ホームページ「ぜん息などの情報館」 ▶ <http://www.erca.go.jp/asthma2/index.html> 内でお知らせします。

### ■自治体の開催する健康相談事業（一般の方々を対象）

対象	開催予定日	会場	テーマ・講師
禁煙したい人、関心がある人	2月17日（土）	川崎市多摩区保健福祉センター	「こんなに変わった！たばこ最新情報」 <b>三浦 秀史先生</b> （禁煙マラソン事務局長）

# 自治体の取り組みの紹介(環境保健施策)

公害健康被害予防事業対象自治体では、ぜん息等の発症の予防、健康の回復・保持・増進を図るため、健康相談事業、健康診査事業、機能訓練事業を行っています。これらをまとめて「ソフト3事業」と呼び、環境再生保全機構はこれら3事業を行う地方公共団体に対し、助成を行っています。ここでは各自治体で実施している健康相談事業(ぜん息予防講演会)と機能訓練事業のうち、音楽教室、ぜん息キャンプ事業、水泳教室について紹介します。

## ★ 健康相談事業(ぜん息予防講演会)

### ～川崎市アレルギー講演会～

川崎市で行われている健康相談事業(ぜん息予防講演会)を紹介します。



講演の様子

<概要>

テーマ・講師	開催日	会場	参加者数	対象者
「小児ぜん息とアトピー性皮膚炎」 ～気管支ぜん息の予防に関する正しい知識とアトピー性皮膚炎のスキンケアと保湿剤の上手な使い方～ 下山 丈紀 先生(しもやまこどもクリニック院長)	平成18年 11月30日(水)	麻生区役所敷地内 川崎市麻生休日 急患診療所	約40人の 親子	1歳未満の 乳児と保護者

前半は、講師の下山先生より、ぜん息や気管支ぜん息の症状、薬物治療やスキンケアについて保湿剤の必要性や具体的な使用方法をわかりやすくお話ししていただきました。症状が良くなったら、使い方や回数の調整をすることやステロイド治療とあわせてしっかり治療、保湿をしていく必要があるとのことでした。後半の質疑応答では、参加者からの多くの質問に丁寧な回答をしていただきました。

## ★ 音楽教室

音楽教室は腹式呼吸を習得するために、専門の指導員により、吹奏楽器等を用いて音楽訓練を行っています。腹式呼吸は発作時に薬を使用することなく苦痛を緩和する方法として知られています。平成17年度は、13地方自治体で行われ、延べ822人のぜん息児童が参加しました。

### ～葛飾区音楽くんれん教室～

右の写真は、「葛飾区音楽くんれん教室」の様子です。



「ボートこぎ」の様子



「おにぎりの歌」の練習

<概要>

開催日	会場	講師	参加者数
第1回：平成18年11月17(土)・18日(日) 第2回：11月25日(土)・26日(日)	青戸地区 センター	福田 義子 先生 (音楽療法士)	約20組の 親子(11/25)

当日は、親子で「ぜん息体操」や「ボートこぎ」の歌、ピッチパイプ(ギター用調弦の笛を改良した笛)を使い、「腹式呼吸」を覚えるレッスンでした。講師の福田先生は「腹式呼吸は『息を吐くこと』が大切。教室で覚えて親子で家で遊びながら体得して欲しい。」とおっしゃっていました。

## ★ ぜん息キャンプ事業

15歳未満のぜん息児童を対象に、医師の健康管理のもと、専門の指導員により療養生活上の指導等を行うことにより、健康の回復・保持・増進を図ることを目的としています。平成17年度は、31地方自治体で行われ、延べ7,350人のぜん息児童が参加しました。

### ～堺市ぜん息児キャンプ事業～

堺市で行われたぜん息児キャンプ事業『堺っ子WAキャンプ』を紹介します。



朝のぜん息体操



人気のシーカヤック

#### <概要>

対象者	開催日	開催地	参加者数
堺市内在住で気管支ぜん息にかかっている小学生と中学生	平成18年 8月1日(火) ～4日(金)	徳島県阿南市 (大阪YMCA阿南国際海洋センター)	40名

堺市では、大阪堺YMCAに委託をし、阿南国際海洋センターにてキャンプを実施しています。

このキャンプで、シーカヤックやヨット、カヌーの体験を通し、環境の大切さや自己鍛錬を学びます。



皆でこいだビッグカヌー

### ～堺市公害保健係より～

参加者にはリピーターも多いですが、初めての子も奮って参加して下さい。皆でぜん息に負けない体と楽しい夏の思い出を作りましょう！

## ★ 水泳教室

15歳未満のぜん息児童を対象に、心身の鍛錬などのために医師の健康管理のもと、専門の指導員による水泳訓練を行っています。平成17年度は、39地方自治体で行われ、延べ33,305人のぜん息児童が参加しました。

### ～横浜市ぜん息児水泳教室～

横浜市で行われた水泳教室を紹介します。

#### <概要>

開催日	会場	講師	参加者数
平成18年10月20日～12月15日までの 毎週金曜日(計8回)	横浜市スポーツ医科学研究センター	丸谷 英次郎 先生	約20名 (11/17)

この教室は、毎回約8割の出席率で、丸谷 英次郎先生と指導員の方が子供たちの指導をされています。練習はレベルに合わせたクラス分けをし、5つのクラスで先生が一人一人に丁寧に指導していました。練習時間は休憩なしの50分ほどで、子供たちの一生懸命に泳ぐ姿にたくましさを感じました。



初心者クラス:水中もぐりっこ



泳法指導の様子



すこやかライフ No.28 ～ぜん息&慢性閉塞性肺疾患のための生活情報誌



ぜん息、慢性閉塞性肺疾患の患者の方々に対しぜん息等の予防・回復に資するための情報提供を目的とした生活情報誌です。年2回発行しています。

**目次**

- ◆特集 ……上手につき合おう 高齢者のぜん息
- ◆医療トピックス ……シックハウス症候群と気管支ぜん息  
正しい知識を持って適切な治療を
- ◆情報コーナー ……「喘息予防・管理ガイドライン2006」  
改訂のポイント
- ◆現場レポート ……病院と家庭をつなぐ医療サポート  
COPDの呼吸ケアを支える「在宅医療」
- ◆ぜん息児へのエール ……石橋守さん（JRA騎手）
- ◆読者のページ ……読者Q&A

明日に向かって～思春期ぜん息の君へ～



ぜん息児の高校生が主人公（サッカー部）のアニメーション編と松井先生と清水宏保選手の対談編の2編成。ぜん息児童だった南雄太選手（柏レイソル）のコメントもあります。

監修：松井 猛彦  
（国際医療福祉大学附属三田病院小児科部長）

仕様：DVD・CD38分、VHS38分

環境報告書 2006



機構が、環境配慮促進法第9条に基づき作成した環境報告書です。「環境報告書 2006」（平成18年9月発行）は、2005年度の事業活動における環境配慮の状況等を取りまとめたものです。

詳細は、機構ホームページへ  
→ <http://www.erca.go.jp/houkoku/index.html>

次号予告（内容は変更することがあります。）

- エコカーワールド2007 & エコライフ・フェア2007
- 平成19年度公害健康被害補償予防事業予算の紹介
- 調査研究発表会
- 平成19年度大気汚染防止推進月間事業のお知らせ
- 新刊パンフレットのご案内

健康被害予防事業だより 第37号 2007年1月号  
発行 独立行政法人環境再生保全機構 予防事業部管理課  
〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310  
ミューザ川崎セントラルタワー8F  
TEL：044-520-9564（ダイヤルイン）  
FAX：044-520-2134

【パンフレット等のお問い合わせ先】  
公害健康被害予防事業に関わる出版物等の入手またはビデオの貸し出しを希望される方は予防事業部環境改善課（044-520-9567）または、環境保健課（044-520-9568）（ダイヤルイン）（土日祝日を除く平日9:00～18:00）までお問い合わせください。費用は無料です。  
なお、当機構ホームページ（URL：<http://www.erca.go.jp>）からでも申し込みます。

次号（No.38）は、2007年7月に発行予定です。